

総合的な熱中症予防対策の実施について

青戸保健センター

金町保健センター

原子力発電所の事故により節電が要請され、区民等に熱中症の増加が懸念される。

このため、保健所では、昨年度につづき今年度も、区民等に対して熱中症予防対策を行う。特に熱中症のハイリスク者（高齢者、障害者、乳幼児）に対する対策を以下のとおり実施する。

1. 主な広報など

- ①ホームページにおける「熱中症の予防」に関する案内の掲載

平成23年7月上旬から9月30日まで掲載中

- ②広報かつしかへの掲載済（7月15日号）

- ③FMかつしかインフォメーション「熱中症の予防」の放送

平成23年7月中旬から9月30日まで放送中

- ④FMかつしか「健康こぼなし」で放送

平成23年8月2日放送予定

- ⑤チラシの配布

「乳幼児向け」・「成人向け」の2種類のチラシを作成し、保健所・保健センターの保健事業で配布中。

このほか、熱中症ハイリスク者である乳幼児、高齢者、障害者が利用する施設（保育園、幼稚園、介護保険事業所、障害者施設等）にもチラシを希望に応じて配布している。

なお、チラシ掲載の内容は、ホームページ上でも情報提供し、ダウンロードして使えるようにしてある。

- ⑥防災行政無線等を利用した熱中症警戒の呼びかけ

環境省などより「暑さ指数」の情報を取得し、防災行政無線等を活用して熱中症警戒の呼びかけを7月9日（土）から実施している。

（防災行政無線等による警報は、予報に基づき、保健所と防災課でダブルチェックの上、警報がある場合、午前10時（時間固定）に放送。）

2. 在宅ハイリスク者に対する家庭訪問（健康確認・相談等）

- ①保健所が把握している精神障害者や難病患者などの在宅ハイリスク者を、保健師が戸別に家庭訪問し、健康確認し、注意を喚起する。
- ②訪問の際にはリーフレットと冷却スカーフを配布し、酸素吸入や人工呼吸器を使用している難病患者に対しては、気温・湿度から熱中症の危険性を知らせる熱中症計も配布する。

3. 講演会、健康教育、説明会等

①職員向け講演会の開催

テーマ： 「熱中症の予防と対応」

日 時： 平成 23 年 6 月 27 日（月） 午後 2 時～3 時 30 分

場 所： 葛飾区職員研修所 AB 研修室

対 象： ○葛飾区職員

○私立幼稚園・私立保育園・障害者施設・介護保険施設等の職員

実施結果：参加人数 164 人

（区職員 36 名、公私立幼稚園・保育園職員 41 名、小学校職員 4 名、児童館職員 3 名、障害者施設 5 名、訪問看護ステーション職員 1 名、包括支援センター職員 2 名、介護事業所 72 名）

②区民向け講演会の開催

テーマ：「知って防げる熱中症」

日 時：平成 23 年 7 月 13 日（水） 午前 10 時～11 時 30 分

場 所：男女平等推進センター1階 多目的ホール

講演会ポスターを作成し、医師会員診療所に掲示の協力を依頼した。

③区内各団体への説明

地区連合町会、合同民生委員・児童委員協議会、体育協会、地域包括支援センター連絡会、高齢者クラブ連合会、シルバー人材センターなどに出向き、熱中症予防について情報提供し、会員等広く関係する方々へも注意をうながすよう依頼している。

④区内自主団体への出張健康講座

要望があった団体には出張し、保健所作成のチラシを活用して健康教育を行い、熱中症予防の徹底を図っている。